

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3

令和8年1月 日

協議会名:長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

[illegible]

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月 日

| | |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 協議会名： | 長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会 |
| 評価対象事業名： | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | 長洲町は、熊本県北西部に位置し、面積は19.44km ² 、人口は15,086人(令和7年12月末現在)の町である。快適な暮らしができる安心のあるまちづくりのためには、誰もが公共交通を利用して気軽に移動できる地域公共交通が必要不可欠である。その一環として、公共交通サービスを真に必要とする高齢者等の移動手段の確保を主たる目的とし、「病院や買い物等の日常生活に必要な移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統を接続するフィーダー系統(デマンド型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの充実を進めているところである。 |

長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会

事業名：令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

概要



【愛称】きんぎょタクシー

金魚は、長洲町のシンボルであり、この予約型乗合タクシーが今後、長洲町のシンボルになるようにと町民の方が期待を込めて名付けた。

【運行主体】 有限会社 ながすタクシー

地域公共交通の活性化及び再生に向けて、長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、住民の移動ニーズを把握し、問題点を明らかにしたうえで、町内及び荒尾市を循環する民間バス路線への補助を廃止し、その財源をもとに平成23年10月からフルデマンド型の長洲町予約型乗合タクシー（きんぎょタクシー）を運行している。

きんぎょタクシーは、公共交通サービスを真に必要な車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要な公共交通であるため、地域公共交通確保維持事業により、きんぎょタクシーを確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。



基礎データ

【人口】 15,086人
【面積】 19.44平方キロメートル
【高齢化率】 37.3%
(令和7年12月末現在)

【補助対象の系統数】 1系統

【自治体負担額】 R1:12,007千円、R2:14,821千円
R3:15,390千円、R4:18,411千円
R5:20,136千円、R6:20,662千円

【協議会開催数】 協議会2回

計画、目標(Plan)

【現況と課題】

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度及び令和3年度に利用者が大きく減少したが、令和4年度にはコロナ禍前の水準の約95%まで回復した。利用者数の回復及び更なる増加を図るためにも、令和5年度に策定した「長洲町地域公共交通計画」に基づき、地域公共交通の適正な体制を構築する必要がある。

【目標】

- ・財政負担の維持・抑制に配慮し、運行効率化を図ることで、利用者の利便性向上を目指す。
(財政負担額25,000千円以内で運行を維持)
- ・地域公共交通の利便性向上による利用者の増加を目指す。(R10までに:22,000人)

生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

長洲・荒尾地域内フィーダー系統確保維持計画どおり長洲町予約型乗合タクシー（きんぎょタクシー）を運行した。また、令和3年4月から実施している玉名市への運行や、運転免許証返納をした高齢者への1年間の無料乗車券配布などを引き続き実施しており、日常生活に必要不可欠な移動手段の確保を図った。また、令和7年8月から土曜日運行の実証事業を実施し、利用ニーズを把握することで、利便性の向上や利用者数の増加に向けた取り組みを行った。

実施状況、目標の達成(Check)

地域公共交通の利便性向上による利用者の増加

【目標】 8,000人(H22) ⇒ 22,000人(R10)

【実績】 21,502人(R7)

財政負担の維持・抑制

【目標】 25,000千円以内での運行

【実績】 R3:15,390千円、R4:18,411千円、R5:20,136千円、R6:20,662千円

今後の課題、対応(Action)

新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用者数は回復し、きんぎょタクシーを運行開始してから最高値となり、目標を大幅に超えることができた。今後は、R6年3月に策定した「長洲町地域公共交通計画」に基づいて各事業を展開するとともに、土曜日における実証事業を検証し必要性を把握することできんぎょタクシー利便性を更に高め、利用者数の増加を図る。